【花き】の【台風】対策について
＜１０月＞

宮崎県総合農業試験場専門技術センター

【露地花き全般】

（１）予想される被害状況

冠水、滞水、風雨による損傷、強風による倒伏、泥はねによる汚れ。

（２）事前対策

① 滞水しないように排水溝を整備する。
② マルチは土寄せ、市販止め具等によりしっかりとおさえ、風による剥がれを防ぐ。
③ 生育に応じて、支柱・ネット等で誘引・固定を実施し、茎葉の損傷を防ぐ。
④ ほ場周辺の片づけを行い、飛来物による作物の被害を防ぐ。

（３）事後対策

① 冠水・浸水があった場合は、速やかに排水作業を行う。
② 必要に応じて殺菌剤、液肥の葉面散布、追肥を行う。

【シキミ、キイチゴ】

（１）予想される被害状況

冠水、滞水、風雨による損傷、強風による倒伏、泥はねによる汚れ。

（２）事前対策

① 幼木は倒れる可能性があるので、支柱で固定する。

（３）事後対策

① 湛水、冠水した場合は、速やかに排水を行う。
② 倒れた木、傾いた木は無理に起こすと根が切れて、枯死する場合があるので、段階的に起こして、正常な状態に戻す。
③ ほ場に土砂が流入した場合、根の活力が低下して枯死する場合があるので速やかに株の周りの土砂を取り除く。

【施設花き共通】

施設栽培における対策については、【野菜】の台風・強風・大雨対策〈通年〉の【施設野菜全般】を参考にする。

【施設・雨よけ花き全般】

（１）予想される被害状況

被覆資材、ハウスの破損、冠水、滞水、強風による茎葉の損傷、倒伏。

（２）事前対策

① ハウスバンドを点検し、ゆるみがないよう、しっかりビニルを押さえる。
② ビニル破損や隙間を点検し、破損箇所は早急に補修する。

③　ビニルの上から防風ネット等を被覆し、ハウスバンド等で固定すると強度は増す。
④　ハウス妻部には筋かいを入れて補強する。
⑤　強風によりハウス倒壊の危険がある場合（２５ｍ以上の風）は，押さえバンドを切ってビニルを除去する。
⑥　冠水、滞水しないようにハウス周辺に排水溝の整備する。
⑦　草丈がある程度伸びたものは、支柱を補強し、誘引ネット等の張りを強化して倒伏を防止する。
⑧　ハウス内のかん水チューブやスプリンクラー・ミスト施設は風で飛ばないように収納あるいは固定する。

（３）事後対策
①　湛水、冠水した場合は、速やかに排水を行う。マルチ栽培の場合はマルチをはがして畦を乾燥させる。
②　台風後の高温・強日射の被害を防ぐために寒冷紗倒で被覆を行う。
③　茎・葉の損傷が発生した場合は、薬剤防除・液肥の葉面散布等を行う。
④　電照や夜冷育苗等、電気機器を使用する品目では、機器が正常に稼働するか点検・確認を実施する。

【スイートピー】
（１）予想される被害状況
被覆資材、ハウスの破損、冠水、滞水、強風による茎葉の損傷、倒伏。

（２）事前対策
ハウスの被覆を剥ぐことを想定し、地面に寝かし防風ネット等で覆う。

（３）事後対策
①　降雨等により畦の表面が硬く締まった場合は、浅く中耕し、通気性・透水性を良くする。
②　欠株が多い場合は、わき芽を利用し複数本に仕立てるか、補植を行う。
その他は施設花きに準ずる。

【コチョウラン他、冷房ハウス等】
（１）予想される被害状況
被覆資材、ハウスの破損、強風による損傷、停電による高温障害。

（２）事前対策
①　長期停電に備え、自家発電等を用意する。
②　夜冷育苗中のデルフィニウム等の苗は、夜冷庫内に収納する。
③　外部遮光、被覆等は除去するかハウス上部に巻き上げて固定する。

（３）事後対策
①　落雷等により停電した場合は冷房設定を再度確認する。
②　夜冷育苗の場合は、台風通過後、すみやかに遮光資材等の被覆を元に戻し、苗を夜冷庫から外に出す。その他は施設花き全般に準ずる。